

2020年3月期 決算説明資料

 **OKUMURA CORPORATION**

連結決算の概要

(単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期		
	実績	予想 (11月公表値)	実績	対前期 増減率
売上高	220,884	222,000	226,371	2.5%
営業利益	13,716	7,900	11,516	▲16.0%
経常利益	15,098	9,300	13,283	▲12.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,314	7,600	9,795	▲20.5%



 OKUMURA CORPORATION

(前期比)

- 売上高は、土木事業の売上高の増加等により増収
- 各利益は、土木事業の売上総利益率が改善したものの、建築事業の売上総利益率の悪化等により減益

(業績予想比)

- 主に土木事業の売上高の増加及び売上総利益率の改善等により、各利益とも業績予想を大きく上回る
- 売上高：4,371百万円(2.0%)増加
- 売上総利益：3,588百万円(14.1%)増加
- 営業利益：3,616百万円(45.8%)増加
- 経常利益：3,983百万円(42.8%)増加
- 親会社株主に帰属する当期純利益：2,195百万円(28.9%)増加

連結B/S

(単位：百万円)

	2019/3期末	2020/3期末	増 減		2019/3期末	2020/3期末	増 減
流 動 資 産	169,742	171,664	1,921	流 動 負 債	108,020	112,990	4,969
現金預金	34,847	26,179	▲8,667	支払手形・ 工事未払金等	43,337	43,944	607
受取手形・ 完成工事収入金等	101,041	121,748	20,707	固 定 負 債	21,269	25,817	4,547
有価証券	17,000	3,000	▲14,000	ノンリコース 借入金	-	9,221	9,221
				負 債 合 計	129,289	138,807	9,517
固 定 資 産	127,947	123,254	▲4,692	株 主 資 本	132,349	131,880	▲469
有形固定資産	49,079	59,556	10,476	自己株式	▲16,069	▲19,761	▲3,691
無形固定資産	937	1,149	212	その他の 包括利益累計額	36,108	24,644	▲11,463
投資その他の資産	77,930	62,548	▲15,382	その他有価証券 評価差額金	34,414	23,233	▲11,181
投資有価証券	74,168	57,429	▲16,738	非支配株主持分	▲57	▲413	▲355
				純 資 産 合 計	168,400	156,111	▲12,288
資 産 合 計	297,690	294,919	▲2,771	負債純資産合計	297,690	294,919	▲2,771

(前期比)

・ 資産の部

➤ 「現金預金」「有価証券」の減少

有価証券は譲渡性預金で、現金預金と合わせた手持資金は、手持工事の大型化により支払いが先行していることや自己株式及び収益物件の取得等により減少

➤ 「有形固定資産」の増加

収益物件の取得等による増加(事務所・店舗ビルを東京、大阪で計2件取得)

➤ 「投資有価証券」の減少

上場株式5銘柄の売却や期末に株式市場が下落したことによる含み益の減少等

・ 負債の部

➤ 「ノンリコース借入金」の計上

連結子会社である石狩バイオエナジーのプロジェクトファイナンスによる借入等により増加

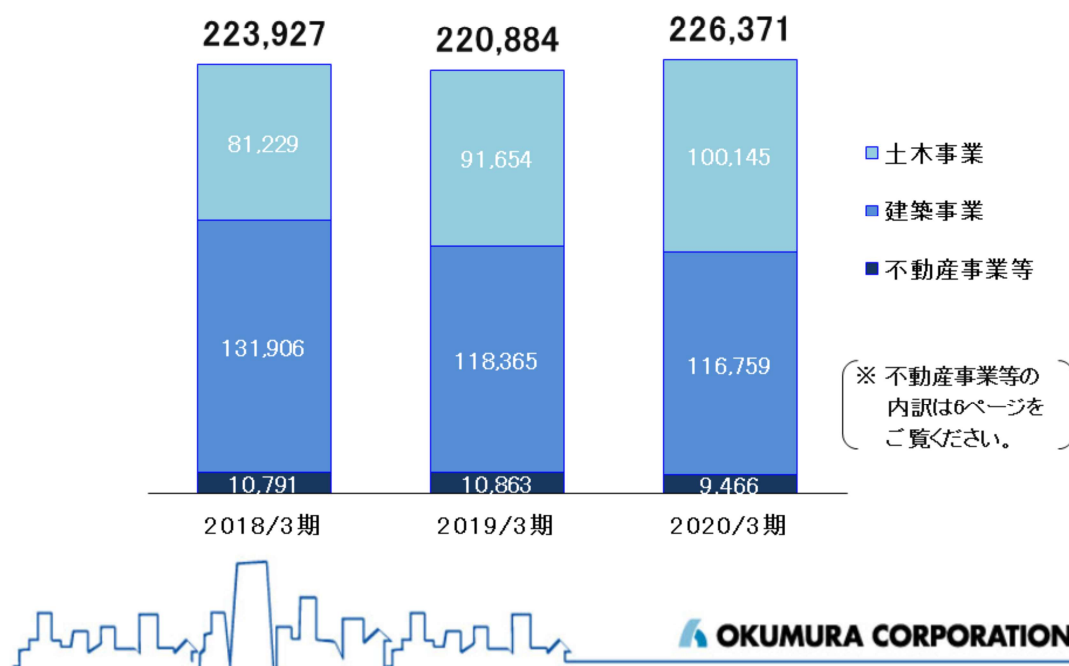
・ 純資産の部

➤ 自己株式の取得(100万株)や投資有価証券の含み益減少による「その他有価証券評価差額金」の減少

➤ 自己資本比率は、3.5ポイントダウンの53.1%

連結P/L(売上高)

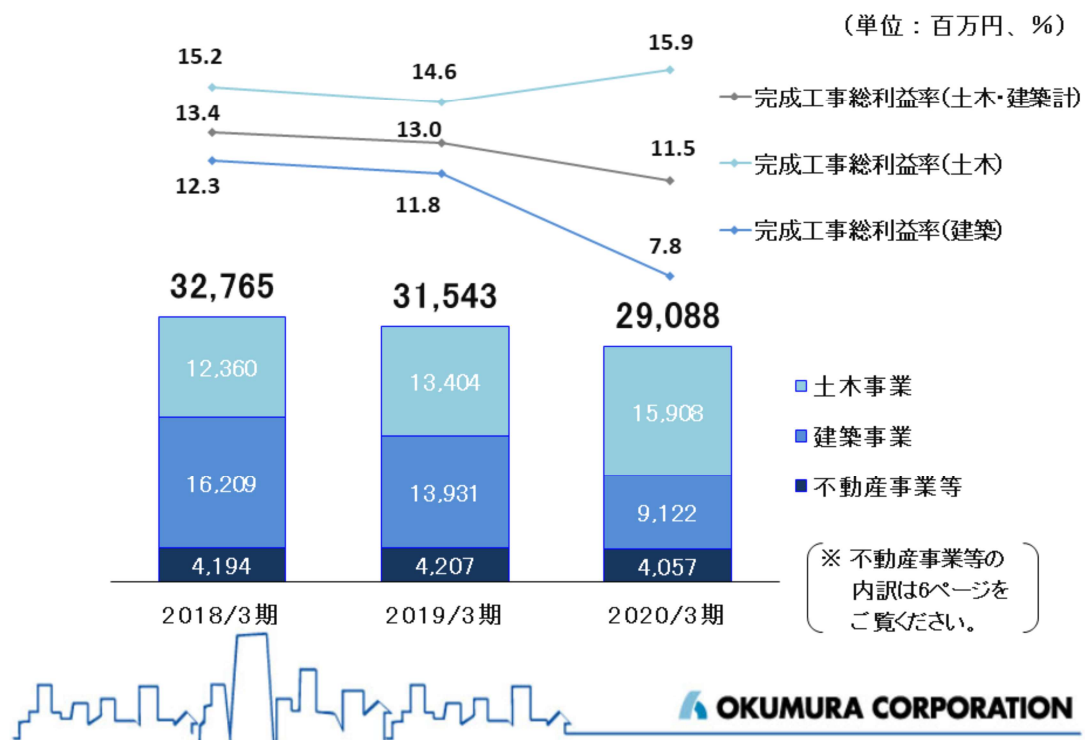
(単位：百万円)



(前期比)

- 近年は繰越工事残高が高水準に推移しており、直近3年の土木・建築合計の売上高は2,000億円超となっている
- 売上高合計：5,487百万円(2.5%)増加
- 土木・建築合計：6,885百万円(3.3%)増加
- 土木：8,491百万円(9.3%)増加
- 建築：1,606百万円(1.4%)減少

連結P/L(売上総利益)



(前期比)

- 売上総利益合計：2,454百万円減少(14.3%→12.8%、1.5ポイントダウン)
- 土木・建築合計：2,304百万円減少(1.5ポイントダウン)

- 土木：2,504百万円増加(1.3ポイントアップ)

土木は、前期に続き高採算工事の売上高に占める割合が高く、特定の大型工事における損益の改善や、期末に設計変更の想定以上の獲得があったこと等により増加

- 建築：4,809百万円減少(4.0ポイントダウン)

建築は、第2四半期までに一部工事で発生した工期逼迫や施工計画の大幅な変更等による損益悪化の影響により大幅に減少

- 工事損失引当金

土木	⇒	192百万円減少(801百万円	⇒	609百万円)
		工事完成によるもの		▲231百万円
		引当不足によるもの		+39百万円
建築	⇒	201百万円増加(316百万円	⇒	518百万円)
		工事完成によるもの		▲371百万円
		引当不足によるもの		+572百万円

不動産事業等の内訳

(単位：百万円)

	2018/3期		2019/3期		2020/3期	
	実績		実績		実績	
売上高	10,791	100%	10,863	100%	9,466	100%
不動産事業	4,660		4,673		4,729	
販売	714		647		545	
賃貸他	3,946		4,025		4,184	
その他	6,131		6,190		4,736	
売上総利益	4,194	38.9%	4,207	38.7%	4,057	42.9%
不動産事業	3,243	69.6%	3,387	72.5%	3,211	67.9%
販売	240	33.7%	342	52.9%	60	11.0%
賃貸他	3,003	76.1%	3,044	75.6%	3,151	75.3%
その他	951	15.5%	819	13.2%	845	17.9%



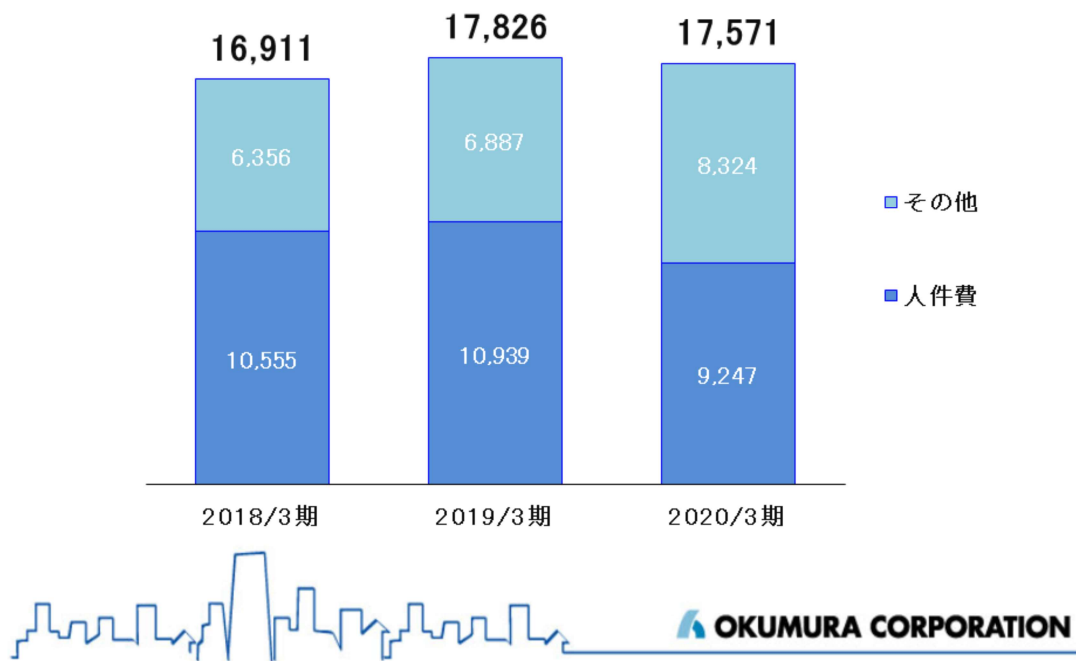
 OKUMURA CORPORATION

(前期比)

- 売上高、売上総利益ともに前期並み
- その他は、主に連結子会社である奥村機械製作の建設資機材等の製造及び販売事業

連結P/L(一般管理費)

(単位：百万円)



(前期比)

- 一般管理費の総額は、254百万円減少
- 人件費は、従来、一般管理費で処理していた店内部門の工事支援にかかる費用を工事原価とするよう会計処理を変更したこと等により1,691百万円減少
- その他は、奥村組の調査研究費等が増加していることや前期から連結子会社としている石狩バイオエナジーの経費の増加等により1,437百万円増加

連結P/L(営業外収支)

(単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	
	実績	実績	増減
営業外収益	1,598	2,309	711
受取利息配当金	1,263	1,459	196
貸倒引当金戻入額	105	539	433
営業外費用	216	542	326
支払利息	154	208	53
支払手数料	15	288	272
営業外収支	1,381	1,766	384



 **OKUMURA CORPORATION**

(前期比)

- 営業外収益は、過去の貸倒実績をもとに算出している一般債権にかかる引当率の低下による貸倒引当金戻入額が増加
- 営業外費用は、連結子会社である石狩バイオエナジーのプロジェクトファイナンス実行に伴う支払利息及び支払手数料が増加

連結P/L(特別損益・法人税等)

(単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	
	実績	実績	増減
特別利益	1,615	980	▲634
投資有価証券売却益	1,420	980	▲440
特別損失	155	524	368
投資有価証券評価損	28	430	402
特別損益	1,459	456	▲1,003
法人税、住民税及び事業税	3,555	3,602	47
法人税等調整額	690	433	▲257
法人税等合計	4,245	4,035	▲210

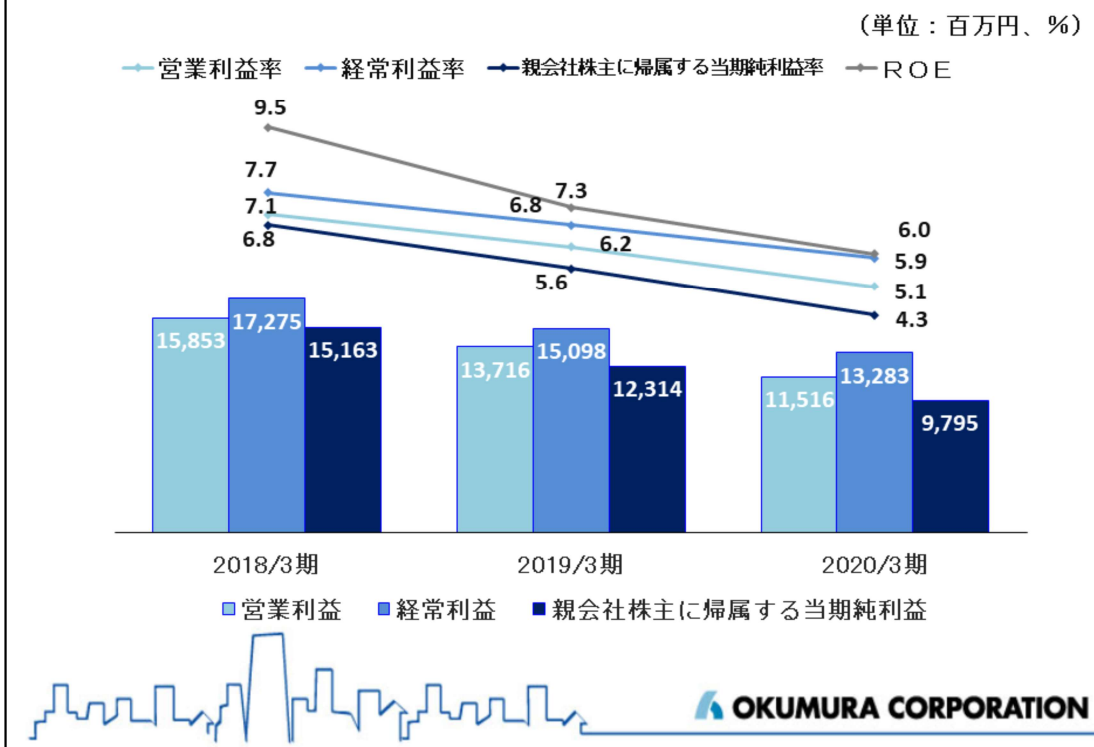


 **OKUMURA CORPORATION**

(前期比)

- 特別損益は、上場株式5銘柄を売却したものの、前期も同様の売却(3銘柄)があったことにより、投資有価証券売却益が減少
- 特別損失は、期末に株式市場が下落したことに伴い、上場株式で投資有価証券評価損を計上

利益・ROEの推移(連結)



- 2018/3期の各利益は、連結での開示を開始した2006/3期以降の最高益
- 2019/3期の営業利益と経常利益は、最高益となった2018/3期に次ぐ過去2番目の水準
- 2020/3期は、利益水準の高い過去2年と比較すると各利益とも減益

(前期比)

- 営業利益：2,199百万円(16.0%)減少
- 経常利益：1,815百万円(12.0%)減少
- 親会社株主に帰属する当期純利益：2,518百万円(20.5%)減少
- ROE：1.3ポイントダウンの6.0%

1株当たり配当額

	2018/3期	2019/3期	2020/3期
中間配当	－	－	4 1 円
期末配当	1 8 4 円	1 5 3 円	1 0 2 円
年間合計	1 8 4 円	1 5 3 円	1 4 3 円

※ 2020/3期より中間配当制度を導入しています。なお、2020/3期の期末配当額については、2020年6月開催予定の定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定です。

◇当社の株主還元政策（2020/3期から）

総還元性向（連結）50%以上

- ・ 配当性向（連結）30%以上 ※安定配当1株当たり45円を下限とする。
- ・ 自己株式の取得



 **OKUMURA CORPORATION**

- 2019年11月に公表した年間配当予想115円から28円増配した143円を予定
- 年間配当額143円の連結配当性向は55.4%、自己株式の取得と合わせた連結総還元性向は92.8%

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期	2020/3期	
	実績	実績	実績	増減
営業キャッシュ・フロー	8,435	9,198	▲11,745	▲20,943
投資キャッシュ・フロー	▲3,851	▲3,364	▲9,554	▲6,190
財務キャッシュ・フロー	▲6,052	▲10,477	▲1,298	9,178
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲3	▲9	23	33
増減額	▲1,472	▲4,653	▲22,575	▲17,921
現金及び現金同等物の期首残高	55,958	54,486	49,833	▲4,653
現金及び現金同等物の 当期末残高	54,486	49,833	27,258	▲22,575



 OKUMURA CORPORATION

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上等で増加したものの売上債権の増加及び法人税等の支払い等により11,745百万円の減少
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得等により、9,554百万円の減少
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、ノンリコース借入等により増加したものの配当金の支払い及び自己株式の取得等により、1,298百万円の減少

連結業績予想

(単位：百万円)

	2020/3期		2021/3期		
	実績		予想		増減
売上高	226,371	100%	212,000	100%	▲14,371
土木	100,145		90,000		▲10,145
建築	116,759		110,000		▲6,759
建設事業計	216,905		200,000		▲16,905
不動産事業等	9,466		12,000		2,533
売上総利益	29,088	12.8%	26,600	12.5%	▲2,488
土木	15,908	15.9%	12,500	13.9%	▲3,408
建築	9,122	7.8%	10,000	9.1%	877
建設事業計	25,031	11.5%	22,500	11.3%	▲2,531
不動産事業等	4,057	42.9%	4,100	34.2%	42
一般管理費	17,571	7.7%	18,000	8.4%	428
営業利益	11,516	5.1%	8,600	4.1%	▲2,916

- 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、企業の設備投資動向や工事の一時中断等による業績への影響が不透明なため、これらの影響を売上高及び売上総利益に一定程度見込んでいる

(前期比)

- 売上高：14,371百万円(6.3%)減少
- 営業利益：2,916百万円(25.3%)減少
- 土木：売上高は10,145百万円(10.1%)減少、
売上総利益は3,408百万円減少(2.0ポイントダウン)
前期は、特定の大型工事における損益の改善や設計変更の想定以上の獲得があり、当期の予想にはこれらを織り込んでおらず減収減益の見込み
- 建築：売上高は6,759百万円(5.8%)減少、
売上総利益は877百万円増加(1.3ポイントアップ)
工期逼迫や施工計画の大幅な変更等により、複数の工事で損益が悪化した前期と比べ、当期は減収増益の見込み
- 一般管理費は、連結子会社である石狩バイオエナジーの経費等により増加する見込み

連結業績予想

(単位：百万円)

	2020/3期		2021/3期		
	実績		予想		増減
営業外収益	2,309	1.0%	1,400	0.6%	▲909
営業外費用	542	0.2%	400	0.2%	▲142
経常利益	13,283	5.9%	9,600	4.5%	▲3,683
特別損益	456	0.2%	—	—%	▲456
税金等調整前 当期純利益	13,739	6.1%	9,600	4.5%	▲4,139
法人税等	4,035	1.8%	3,300	1.5%	▲735
当期純利益	9,704	4.3%	6,300	3.0%	▲3,404
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲91	▲0.0%	▲600	▲0.3%	▲508
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,795	4.3%	6,900	3.3%	▲2,895
R O E	6.0%		5%程度		

(前期比)

- 経常利益：3,683百万円(27.7%)減少
- 親会社株主に帰属する当期純利益：2,895百万円(29.6%)減少
- 当期予想には、営業外収益・営業外費用は通常発生するものだけを見込んでおり、為替差損益や貸倒引当金戻入額は見込んでいない

1株当たり配当額予定

	2019/3期	2020/3期	2021/3期予定
中間配当	－	4 1 円	2 2 円
期末配当	1 5 3 円	1 0 2 円	7 4 円
年間合計	1 5 3 円	1 4 3 円	9 6 円

(参考)

2020年5月22日開催の取締役会において、2020年6月5日に自己株式600万株を消却する旨の決議を行っています。



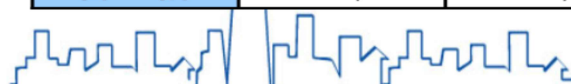
 **OKUMURA CORPORATION**

- 株主還元政策(11ページに記載)を踏まえたうえで、経営環境等を総合的に勘案し、2021/3期年間配当額は前期から47円減配の1株当たり96円を予定
- 年間配当予定額1株当たり96円は、通期業績予想に対する連結配当性向52.6%

参考：受注高(個別)

(単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期		2021/3期
	実績	実績	対前期 増減率	予想
土 木	110,024	89,649	▲18.5%	85,000
官公庁	74,993	38,970	▲48.0%	65,000
民 間	35,031	50,679	44.7%	20,000
建 築	158,801	129,212	▲18.6%	115,000
官公庁	22,605	38,372	69.7%	25,000
民 間	136,196	90,840	▲33.3%	90,000
合 計	268,826	218,862	▲18.6%	200,000



 OKUMURA CORPORATION

(受注実績)

- 土木・建築とも2020年2月公表値(土木97,000百万円、建築135,000百万円)を若干下回る

(繰越工事高)

- 土木：173,306百万円
- 建築：178,289百万円
- 合計：351,595百万円
- 繰越工事高合計は、2010/3期の進行基準全面適用以降で最高値

(受注翌期予想前期比)

- 公共投資は一定の底堅さを維持すると見込まれるものの、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、企業の設備投資動向等が不透明であり、これらの影響を一定程度織り込んでいる
- 土木：4,649百万円(5.2%)減少
- 建築：14,212百万円(11.0%)減少
- 合計：18,862百万円(8.6%)減少

主な完成工事



左上から時計まわりに
中部横断自動車道 石合トンネル工事
(山梨県南部町)

大阪本町ホテル計画
(大阪府大阪市)

二級河川長部川筋長部川水門土木工事
(岩手県陸前高田市)

ダイキョーニシカワ(株)新本社棟他 新築工事
(広島県東広島市)





本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。